

(22) 魚病監視調査

予算

運営費交付金

概要

魚病の蔓延防止のため、(公財)大阪府漁業振興基金の種苗生産現場および大阪府内の養殖場等にて発生した魚病の診断、未然に防止するための健康診断、および指導を行った。種苗生産現場ではクロダイにおいて腹部膨満症が確認され、大きな被害が出た。また、養殖現場等ではトラフグにおいてブルックリネラ症による大量斃死が見られた。

調査方法

1. 調査期間
2016年4月～2017年3月
2. 調査項目
 - 1) 魚病診断
育成魚等の異常が報告された場合、すみやかに魚病診断を行った。
 - 2) 健康診断
種苗生産現場で飼育されている親魚の健康診断を行った。

調査結果

表1、2のとおり。

担当者

辻村浩隆

表 1 魚病監視調査、魚病診断件数

魚種	病名	2016年										2017年			合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
トラフグ	ブルックリネラ症					2	1									3
	原因不明													1		1
クロダイ	腹部膨満症		1	1												2
	滑走細菌症				1											1
マアナゴ	滑走細菌症													1		1

表 2 魚病監視調査、健康診断件数

魚種	病名	2016年										2017年			合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
キジハタ	えらむし			3			1									4
	(<i>Pseudorhabdosynochus epinepheli</i>)															
クロダイ	えらむし		1													1
	(<i>Dactylogyrus</i> sp.)															